

こどもにすすめたい本

小学校高学年
中学生向け

はっけん たからばこ

—わたしの本だな—



山梨県公共図書館協会

小学校高学年・中学生向けおすすめの本



『青空のむこう』

アレックス・シアラー／著 金原瑞人／訳
求龍堂

自分が死んだ後のことを考えたことがありますか？主人公ハリーはゴースト。現実世界に戻ってきた理由は…。ハリーが無事「彼方の青い世界」に旅立つまでの気持ちや行動は、今まで気づかなかった大切なことや生きることを考えさせてくれます。



『穴』

ルイス・サッカー／作 幸田敦子／訳
講談社

スタンリーは無実の罪で少年院へ送られ、1日1個の大穴を掘る過酷な日々を送ることに。ひいひいじいさんが果たせなかった約束、ひいじいさんが強盗に奪われた財産、全ての因縁が時空を超えて1つの結末に向かう。たくましく成長する少年の冒険物語。



『一瞬の風になれ』 全3巻

佐藤多佳子／著
講談社

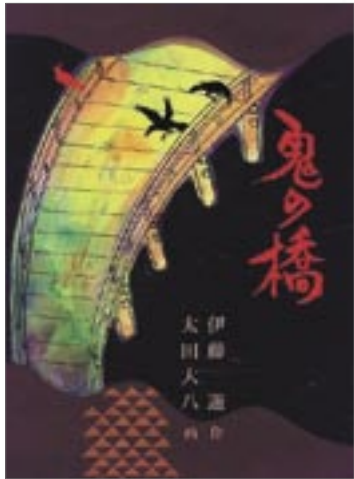
「そのメンバーで、その時に走った、そのレースは一回きりだ…。決して強豪とは言えない春野台高校陸上部を舞台に、インターハイ優勝という大きな夢をバトンに託し、400メートルリレーに青春をかける主人公たちの姿を爽やかに描いた作品です。



『おいしいハンバーガーのこわい話』

エリック・シュローサー／著
チャールズ・ウィルソン／著 宇丹貴代実／訳
草思社

ファーストフードを代表する食べ物、ハンバーガー。子どもから大人まで大好きなハンバーガー。空腹を満たすその食感は、まさに特別な食べ物。しかし、その裏には知られざる秘密が！身近な食べ物の裏側が解き明かされます。



『鬼の橋』

伊藤 遊／作 太田大八／画
福音館書店

平安初期の京都。自分の不注意で妹を死なせた
罪の意識に苦しむ12才の篁（たかむら）は、ふとし
たことから冥界に紛れ込む。五条橋の下に住む少女、
冥界でさまよう坂上田村麻呂、この世に現れた鬼た
ち。様々な困難に立ち向かい成長する篁を描きます。



『ガラスのうさぎ』

高木敏子／作 武部本一郎／画
金の星社

東京大空襲の日、敏子は母とふたりの妹を失い、
その5ヶ月後、今度は父をも目の前で殺されてしま
います。空襲の焼け跡でみつけたガラスのうさぎは、
この戦争を決して忘れてはならないことを強く語り
かけています。



『彼の手は語りつぐ』

パトリシア・ポラッコ／文と絵 千葉茂樹／訳
あすなろ書房

南北戦争で出会った文字の読める黒人ピンクスと
文字を読めない白人シェルダン。ピンクスは言った。
「たとえ奴隷でも、自分のほんとうの主人は、自分以
外にはいない」と。シェルダンから娘へ、娘から孫
へと代々語りつがれてきた本当にあったおはなし。



『ぎぶそん』

伊藤たかみ／著
ポプラ社

ガクとリリィ、マロはバンド仲間。だけど新しい
ギタリストのかけるに夢中なガクに、リリィたちは
面白くありません。恋と友情をめぐる4人の仲はぎく
しゃくし、演奏までバラバラ。果たして文化祭に間
に合うのでしょうか？



『幸子の庭』

本多明／著
小峰書店

不登校の少女・幸子の家では、古い先短い曾祖母のため、思い出の庭をよみがえらせることになりました。荒れ果てた庭を手入れする若く実直な庭師・田坂は、庭だけでなく幸子の心をも生き返らせていきます。植物の美しさに心癒される物語。



『十歳のきみへ』

日野原重明／著
富山房インターナショナル

命とは、家族とは、人間とは…。「生きる」ことをテーマに、95歳の医師・日野原重明先生が自身の人生感を子どもたちに優しいメッセージとして託します。「いのち」とは何かが鋭く説かれ、大人が読んでも共感できます。



『13歳のハローワーク』

村上龍／著 はまのゆか／絵
幻冬舎

動物・スポーツ・おしゃれ・料理など、いろいろな「好き」を入口に514種の職業が紹介されています。「いい学校を出て、いい会社に入れば安心」という時代は終わりました。好きなことを職業として考えてみませんか？ わかりやすい仕事の百科全書です。



『しらんぷり』

梅田俊作・佳子／作・絵
ポプラ社

クラスメイトのドンちゃんがいじめにあっているのに、ぼくはしらんぷり。口に出したらぼくがやられるから。でもだんだんしらんぷりを続けるのがいたたまれなくなって…。あなたは、しらんぷりをされたことがありますか？ したことがありますか？



『震度7』

松岡達英／文・絵
ポプラ社

一瞬ですべてが変わってしまいました。2004年に発生した新潟県中越地震を絵本作家でもある松岡達英氏が独自の視点で記録しました。地震の恐さだけでなく、人々の絆、温かさ、強さなど大切なことを教えてくれる一冊です。



『精霊の守り人(「守り人」シリーズ)』

上橋菜穂子／作 二木真希子／絵
偕成社

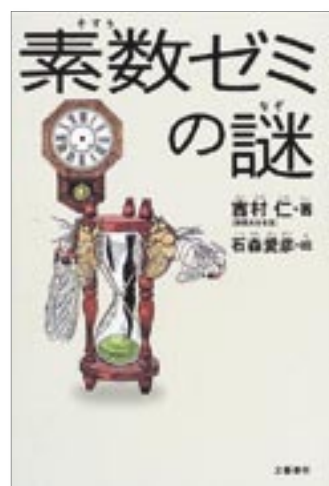
異世界からこちらの世界を見守る精霊は100年に一度人間に宿って誕生するという。皇子チャグムは精霊を宿したため、それを隠そうとする皇帝と異世界の化物ラルンダに命を狙われる。チャグムを守るべく雇われた短槍使いバルサの活躍を描きます。



『千の風になって』

新井 満／文 佐竹美保／絵
理論社

世界各地で、大切な人を失った悲しみの中、読み継がれてきた一篇の詩「千の風になって」。この詩をもとに絵本が生まれました。アメリカ先住民族の少年ウパシと少女レイラを主人公に、愛と死、そして死の悲しみを乗り越え生きる力を描きます。



『素数ゼミの謎』

吉村 仁／著 石森愛彦／絵
文藝春秋

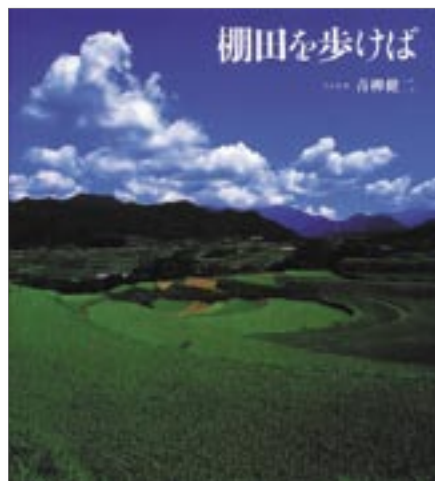
素数ゼミとはアメリカに13年や17年という素数の年ごとに大発生する変なセミのこと。このセミの謎を、生物の歴史や数学を用いて探っていきます。ユーモアあふれる構成で、生物の奥深さに興味津々！



『DIVE!! (ダイブ)』 全4巻

森 絵都／著
講談社

高さ10メートルからの飛翔。時速60キロの急降下。わずか1.4秒の空中演技。こんな高さからこんな速度に耐えつつ、瞬時に宙返りをしたり体をひねったり。様々な疑問を抱え、学園生活を送りながらオリンピックをめざす飛び込み選手の話。



『棚田を歩けば』

青柳健二／文・写真
福音館書店

「棚田」は山の斜面や谷間に、階段状に作られた田んぼのこと。四季の移ろいとともに変化するその姿を、私たちが毎日口にするお米の成長とともに収めた写真集。環境問題を学ぶ一助にもなります。



『チョコレート工場の秘密』

ロアルド・ダール／作 柳瀬尚紀／訳
クエンティン・ブレイク／絵
評論社

チャーリーが住んでいる町に、世界一広大で世界一有名なワカカのチョコレート工場がある。けれども、だれもそこで働く人を見たことがない。ある日その工場へ5人の子もたちが招待されて…。子どもも大人も楽しめるドキドキ・ワクワクの物語です。



『土のコレクション』

栗田宏一／著
フレーベル館

日本全国から採取した1万種類を超える土の中から紹介します。「土」イコール「茶色」ではなく、様々な色があることを知ることができます。いつも身近にあって意識していなかった土の美しさ、面白さに出会えます。



『飛ぶ教室』

エーリヒ・ケストナー／作 池田香代子／訳
岩波書店

始まりはクリスマスの少し前。ドイツ、ギムナジウムの寄宿舎が舞台。個性あふれる5人の少年を中心に、様々な事件や魅力的な教師との関わりを通して彼らの成長を描きます。大切なものはいつの時代でも変わることがないということをそっと教えてくれます。



『夏の庭—The Friends—』

湯本香樹実／作
徳間書店

小学校最後の夏、お葬式から帰った山下君の一言から“死んだ人”に興味を持った3人の少年は、死が間近ではと噂される近所のおじいさんを見張ることに。ところが、おじいさんはだんだん元気になって…。少年たちの忘れがたい夏の物語。



『なによりも大切なこと』

あさのあつこ／著
PHP研究所

10代はいろんなことを考え、変わっていく…。若い世代に圧倒的な人気を誇る作家が作品に込めた10代への思い。読者へのドキドキする言葉、語りかけるようなあたたかい言葉で綴られたメッセージブック。



『ナルニア国物語』全7巻

C.S.ルイス／作 瀬田貞二／訳
岩波書店

4人の兄弟が入り込んだ大きな衣装ダンス。その奥には雪の降り積もる別世界が広がっていました。想像の国「ナルニア」の誕生から滅亡までを描いた壮大なファンタジーです。第1作「ライオンと魔女」から第7作「さいごの戦い」まで読む人を夢中にさせます。



『西の魔女が死んだ』

梨木香歩／著
小学館

“西の魔女”とはまいの祖母のこと。中学校へ足が向かなくなったまいは、田舎の祖母の家で生活することになり、そこでの「魔女修行」が始まります。修行とは、何でも自分で決めるということでした。不登校の少女の癒されていく心を描いた作品です。



『ネルソンさん、あなたは人を殺しましたか?』

アレン・ネルソン／著
講談社

アレン・ネルソンは「本当の戦争」についてこう語る。「本当の戦争は無慈悲で残虐でおろかで、そして無意味だ」。18歳で向かったベトナムの地でネルソンが体験したのは、人を人と思わずに「殺す」ことでした…。戦争の真実を真っすぐに伝える一冊。



『バッテリー』全6巻

あさのあつこ／作 佐藤真紀子／絵
教育画劇

主人公の巧は小学生の頃から、あまりの剛速球ゆえ、キャッチャーを探すのに苦勞するほどの天才ピッチャー。中学校に入学する直前、山間の地方都市に引っ越すことになり、そこで新しい野球仲間と出会います。少年たちの真剣勝負が印象的です。



『葉っぱのフレディ』

レオ・バスカーリア／作 島田光雄／絵
みらいなな／訳
童話屋

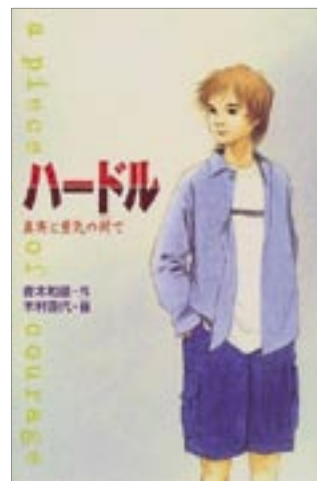
私たちはどこから来て、どこへ行くのでしょうか。生きていくことは、死ぬことは。人生って何？葉っぱのフレディといっしょに考えてみませんか。年齢を超えて、命の尊厳について考えさせられる本です。



『ハッピーバースデー』

青木和雄／作 加藤美紀／画
金の星社

「おまえ、生まれてこなきゃよかったよな」。11歳の誕生日、祝福してほしい日に言われた兄の一言。あすかは声をなくしてしまう。本当の豊かさとは、生きる喜びとは。あすかの家族の戦いから「生まれてきてよかった」と思えるまでの日々が綴られます。



『ハードル』

青木和雄／作 吉富多美／作 木村直代／画
金の星社

バスケット部のエース、麗音（レオ）は階段から突き落とされ生死の境をさまようことに。学校はいじめの事実を隠そうとしますが、子どもたちは正義と勇気を持って学校に立ち向かいます。自分たちの力でハードルを乗り越えようとする子どもたちの姿を描きます。



『ハルばあちゃんの手』

山中 恒／文 木下 晋／絵
福音館書店

「いい手じゃ」。海辺の小さな村にうまれたハルの手を見てみんなが言った。「手」を通して描かれたひとりの女性の人生、その様々な場面。美しい鉛筆画が作品の世界を引き立てています。



『風神秘抄』

荻原規子／作
徳間書店

源氏と平家が覇権を争った平安末期を舞台にした歴史ファンタジー。平治の乱で敗れ落武者となった草十郎は絶望と孤独の中で彼の笛と舞姫の糸世の舞が生み出す強大な力に気づく。だが、時の権力者が彼らの力を求め、運命が変わり始める…。



『ボクたちの値段』

荻原博子／監修 坂本綾子／構成・文
講談社

毎日変わっていくお金をとりまく環境。でも子ども自身もお金に関する考え方を身につけていれば大丈夫。お金は人生の中でどういう役割を果たしているの？ お金とうまく付き合うには？ 大人が読んでもためになる一冊です。



『ぼくが見た戦争』

高橋邦典／写真・文
ポプラ社

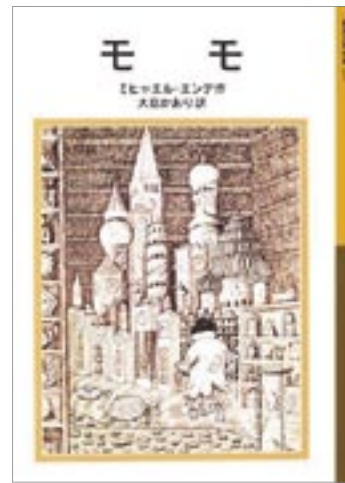
2003年、アメリカはイラクが大量破壊兵器を持っているという理由で、「正義」という名のもと、イラクを攻撃した。人が殺し合う戦争に「正義」などあり得るのだろうか。日本人カメラマンの目を通して本当の戦争の悲惨さが伝わってきます。



『緑の模様画』

高樓方子／著
福音館書店

まゆ子、テト、アミの3人は、誰もいないはずの塔の窓に人影が映るのを見てしまう。その人影には、見た人を仲たがいさせるというジンクスがあったのです。交錯する現在と過去。不思議に満ちた世界が広がっていきます。



『モモ』

ミヒャエル・エンデ／作 大島かおり／訳
岩波書店

町はずれの円形劇場に迷い込んだ不思議な少女モモ。町の人たちはモモに話を聞いてもらおうと、幸せな気持ちになるのです。あの「時間どろぼう」が現れるまでは…。忙しいあなた、この本を読んで“時間”について考え直してみませんか？



『楽園のつくりかた』

笹生陽子／著
講談社

エリート中学生に突然転校の悲劇。とんでもない田舎の中学で同級生はわずか3人！しかも決して親しくなりたいと思う人たちではない。自分のペースをなかなかつかめないぼくは、単身赴任中の父に不満のメールを送り続けるのですが…。



『ルリユールおじさん』

いせひでこ／作
理論社

ルリユールとは本造り職人のこと。ソフィーの壊れた植物図鑑がルリユールおじさんの手によって生まれ変わってゆく。その細かい工程の中には、職人の心意気が込められていた。小さな工房で仕事をする老人と少女の交流を描きます。本ってすばらしい！



『ローザ』

ニッキ・ジョヴァンニ／文
ブライアン・コリアー／絵 さくまゆみこ／訳
光村教育図書

ひとりの黒人女性がバスの中で白人に席を譲らなかつただけで罪に問われた。彼女の名はローザ・パーク。そのことが黒人の人権意識を目覚めさせる。彼女の気持ちが皆に勇気を与え、社会を変えていきます。読むほどに胸が熱くなる一冊です。



『わたしは生きていける』

メグ・ローゾフ／作 小原亜美／訳
理論社

心に傷を抱えた少女デージーは叔母の家に引き取られ暮らし始める。楽しい日々には癒され、やがてデージーは恋を知る。しかし、戦争という厳しい現実を迎え、逃避行と別離を余儀なくされ…。切なる思いを込めた衝撃のラストに誰もが涙する感動作です。

小学校高学年・中学生向けそのほかおすすめの本

書名	著者名	出版社名
頭のうちどころが悪かった熊の話	安東みきえ／作 下和田サチヨ／絵	理論社
あなたが世界を変える日	セヴァン・カリス＝スズキ／著 ナマケモノ倶楽部／編・訳	学陽書房
歩く	ルイス・サッカー／作 金原瑞人／訳 西田 登／訳	講談社
犬に本を読んであげたことある？	今西乃子／文 浜田一男／写真	講談社
薄紅天女	荻原規子／作	徳間書店
裏庭	梨木香歩／著	理論社
永遠の夏休み	折原みと／著	ポプラ社
オオカミ族の少年 (クロニクル千古の闇シリーズ)	ミシェル・ペイヴァー／作 さくまゆみこ／訳 酒井駒子／画	評論社
おのぞみの結末	星 新一／作 和田 誠／絵	理論社
おばあちゃんの記憶	エルヴェ・ジャウエン／作 小野ゆり子／訳	さ・え・ら書房
おばあちゃんは木になった	大西暢夫／写真・文	ポプラ社
おりの中の秘密	ジーン・ウィリス／著 千葉茂樹／訳	あすなろ書房
カラフル	森 絵都／作	理論社
きいちゃん	山元加津子／著 多田 順／絵	アリス館
北の動物園で起きた12のお話	浜 なつ子／著 あべ弘士／絵	角川学芸出版
クローディアの秘密	E・L・カニグズバーグ／作 松永ふみ子／訳	岩波書店
黒グルミのからのなかに	ミュリエル・マンゴー／文 カルメン・セゴヴィア／絵 ときありえ／訳	西村書店
ゴーストハウス	クリフ・マクニッシュ／著 金原瑞人／訳 松山美保／訳	理論社
狐笛のかなた	上橋菜穂子／作 白井弓子／画	理論社
サンネンイチゴ	笹生陽子／作	理論社

書名	著者名	出版社名
しずかな日々	椰月美智子／著	講談社
十二番目の天使	オグ・マンディーノ／著 坂本貢一／訳	求龍堂
14歳からの哲学	池田晶子／著	トランスビュー
盾（シールド）	村上 龍／著 はまのゆか／絵	幻冬社
戦争が終わっても	高橋邦典／写真・文	ポプラ社
空からおちてきた男	ジェラルディン・マコックラン／作 金原瑞人／訳 佐竹美保／絵	偕成社
ダイヤモンドより平和がほしい	後藤健二／著	汐文社
たたみの部屋の写真展	朝比奈蓉子／作	偕成社
天狗童子	佐藤さとる／著 村上 豊／画	あかね書房
灯台守のバーディ	デボラ・ホプキンソン／作 キンバリー・バルケン・ルート／絵 掛川恭子／訳	BL出版
とどまることなく	アン・ロックウェル／作 もりうちすみこ／訳 グレゴリー・クリスティー／絵	国土社
トラベリング・パンツ	アン・ブラッシュェアーズ／作 大鷲双恵／訳	理論社
どろぼうの神さま	コルネーリア・フンケ／著 細井直子／訳	WAVE出版
南極のコレクション	武田 剛／著	フレーベル館
盗まれた記憶の博物館（上・下）	ラルフ・イーザウ／著 酒寄進一／訳	あすなろ書房
走ル	羽田圭介／著	河出書房新社
走れ、セナ！	香坂 直／著	講談社
ハッピーノート	草野たき／作 ともこエヴァーソン／画	福音館書店
パパ、お寿司たべたい！	入江和夫／著	文藝春秋
ハーフ	草野たき／著	ポプラ社

小学校高学年・中学生向けそのほかおすすめの本

書名	著者名	出版社名
ハンナのかばん	カレン・レビン／著 石岡史子／訳	ポプラ社
非・バランス	魚住直子／著	講談社
被爆者	会田法行／写真・文	ポプラ社
二つの旅の終わりに	エイダン・チェンバース／作 原田 勝／訳	徳間書店
フュージョン	浜野京子／著	講談社
Fragile—こわれもの	石崎洋司／〔ほか〕著	ポプラ社
ブルーイッシュ	ヴァージニア・ハミルトン／著 片岡しのぶ／訳	あすなる書房
ヘブン・ショップ	デボラ・デビス／作 さくまゆみこ／訳	鈴木出版
包帯クラブ	天童荒太／著	筑摩書房
僕らの事情。	デイヴィッド・ヒル／著 田中亜希子／訳	求龍堂
ほこらの神さま	富安陽子／作 小松良佳／絵	偕成社
牡丹さんの不思議な毎日	柏葉幸子／作 ささめやゆき／絵	あかね書房
マジヨモリ	梨木香歩／作 早川司寿乃／絵	理論社
みどパン協走曲	黒田六彦／作 長谷川義史／絵	BL出版
美乃里の夏	藤巻吏絵／作 長 新太／画	福音館書店
耳の間こえない子がわたります	マーリー・マトリン／作 日当陽子／訳 矢島真澄／絵	フレーベル館
目で見える数学	ジョニー・ポール／著	さ・え・ら書房
リバウンド	E・ウォルターズ／作 小梨 直／訳 深川直美／画	講談社
リボン	草野たき／著	ポプラ社
わかってほしい	MOMO／作 YUKO／絵	クレヨンハウス

このリストについて

- このリストは、文部科学省委託「子ども読書地域フロンティア事業」の一環として、山梨県公共図書館協会が、同事業やまなし実行委員会から委託を受け作成しました。
- 掲載した本は、山梨県内の公共図書館職員が、これまで出版されたものの中からこどもにすすめたい本100冊を選定したものです。
- 選定に当たっては、山梨県公共図書館協会児童奉仕研究部会が作成したリストやこれまで発行された各種のリストなどを参考にしました。
また、現在、書店や図書館で入手できるものを中心に選定しました。
- リストに記載した書誌事項（タイトル、著者、出版社など）は原則として本に掲載されていた表記を用いました。
- このリストのタイトル「はっけん たからばこ」は、「やまなし子ども読書フェスティバル」キャッチフレーズ部門で最優秀作品となった山内^{かのん}花音さん（甲府市立甲運小学校）の「本は、はっけん たからばこ」によりました。

こどもにすすめたい本

はっけん
たからばこ

小学校高学年
中学生向け

—わたしの本だな—

平成21年3月1日

編集・発行 山梨県公共図書館協会

〒400-0031 山梨県甲府市丸の内2-33-1 山梨県立図書館内

TEL 055-226-2586

FAX 055-226-2528

URL (山梨県立図書館) <http://www.lib.pref.yamanashi.jp/>